

## 教育委員会からのお知らせ

### しもすわ人形劇まつり 2013

日時：7月7日（日）午前10時00分～午後12時00分  
午後1時30分～午後3時30分

会場：下諏訪総合文化センター 小ホール ほか



入場料：高校生以上 500円（当日500円）  
中学生以下 無料

★チケットは、6月24日（月）から下諏訪総合文化センター窓口で販売いたします。

<問い合わせ先> 下諏訪総合文化センター（TEL 28-0018）



### 自然観察会 ～ガイドと歩く夏の八島ヶ原トレッキング～

日時：8月3日（土） 午前7時30分  
総合文化センター前出発（貸切バスで移動）

定員：80名（町内在住の方を優先します）

コース：車山肩～沢渡～旧御射山～八島ヶ原湿原（予定）

内容：「恋人の聖地」に認定された、話題の八島ヶ原湿原を含む上記コースを自然観察ガイドの説明を聞きながらトレッキングします。



この夏は家族や友人、恋人同士で、爽やかな高原の自然を満喫しませんか。

参加費：500円（保険料・資料代等）

申込み：参加費を添えて、7月26日（金）までに直接下記窓口へお越しください。

問合せ：下諏訪町教育委員会／生涯学習係（文化センター内） 27-1111（内線718）

下諏訪町産業振興課／商工観光係（町庁舎2階） 27-1111（内線272）

下諏訪観光協会（儀象堂内） 26-2102

※詳しい内容については、班回覧のチラシをご覧ください。

### 町民大学 下諏訪を学ぶ ②

演題：下諏訪の文学 <7>

「ゆめ」多い、古代・中世・近代の諏訪のものがたりを楽しむ

講師：島木赤彦研究会長 小口明先生

日時：7月21日（日） 午後1時30分～午後3時

会場：文化センター集会室



講師の小口明先生

タケミナカタ（建御名方神）はどこから来たか（古事記）、諏訪と遠江は地下つながり（諏訪大明神画詞）、諏訪下社祭神は、奈良のカスガヒメ（諏訪大明神五本地縁起）、諏訪湖の底には龍宮がある（井原西鶴・諸国咄し）—古き代の歴史書としても扱われる上記の書は、古き諏訪の地のゆめ物語満載の文学書でもある。今回は、そんな世界を楽しみたいと思います。（講師コメント）

注：遠江（とおとうみ）：今の静岡県西部。遠州近江（おうみ）に対する。

<問合せ・申込先> 下諏訪町公民館 28-0002

※6月号P19に掲載 みんなの美術館 作品「表戸をふっとばす豆太」の3年古田大貴さん（現4年）は現在6年生の誤りです。お詫びして訂正いたします。現4年（×）→現6年（○）

## 町から 2冊目の本のプレゼント

### 4月から始まったセカンドブックプレゼント 2歳児対象に

町図書館に2歳児の親子に来ていただき、好きな絵本をプレゼントします。町では、お子さんが6ヵ月になると、ファーストブックをプレゼントしています。本年度から「セカンドブックプレゼント」も行うことになりました。ファーストブックから保育園入園までをつなぎます。絵本に親しんでいる家庭はさらに一層親しめるように、絵本がまだお子さんの生活になじんでいない家庭は、このセカンドブックプレゼントがよいきっかけになることを願っています。



お父さんも来てくれました



この中から好きな本を1冊プレゼント!



どの本にしようかな...



シールに名前を書いて、本に貼ったよ

### おはなしのへやフチ...毎週木曜日 午前11時から11時30分まで

プレゼントの後、続いて行われる「おはなしのへやフチ」で楽しい時を過ごします。2歳よりもっと小さい子どもも、お家の人の膝の上で一心に見入ったり聞き入ったりしていました。おばあちゃんと来た男の子が熱心に聞いていたので、年を尋ねたら1歳4ヵ月ということで、嬉しい驚きでした。



### 園児のつゆやき



通園バスの車中にて窓から見えた紫陽花を見て

「あっ、あさがおがさいてる！」

先生「あじさっていうんだよ」

「エー？あじがするの？」

先生「あじ？あじがするかもしれないね・・・」

さくら保育園 須崎園長

七月といえは何を思い浮かべますか？ふと考えてみた時に私が思いつくのは七夕でした。七夕の時、短冊に願い事を書くのはなぜだろうと、疑問に思い調べてみました。

本来七夕の日とは、中国にある乞巧奠（きっこうでん）という行事の日であり、この行事自体は、「手芸・裁縫」が上達したいとの願いからできた行事であるとのこと。また、七夕のお話に伝えられる、織姫も機織りが大変上手であることから「織姫のように機織り、手芸、習字、裁縫が上手になりたい」という願いとなり、「短冊に字を書いて、習字の練習をすると字が上手になる」「短冊に願い事を書く」と願いが叶う」と繋がり、最終的には「お米の取れる秋の豊作を願う」なども絡み、短冊に願い事を書いて、笹の葉につるすという風習に繋がったとされているそうです。

そういえば、最近字を書くことが少なくなってきたなあ。パソコンで文書を作ったり携帯でメールを送ったり。今年の短冊に「美しい文字が書けるようになりたいように」と願い事をしようかな。

（丸山）

つゆやき

